



【式典で「追悼の辞」を述べる松川中央本部委員長（中央立席）】

# 慰霊碑新たに

## 国鉄原爆慰霊碑 移転式典

JR長崎本線連続立体交差事業に伴う浦上駅前広場再開発のため移転した国鉄原爆死没者慰霊碑の移転式が3月26日、関係者のみ参列して執り行われた。新慰霊碑は、北へ約250メートルの高架橋に新たに建立された。

式は11時、上之濱長崎地区本部書記長の挨拶で開式。原爆が投下された同2分、慰霊碑に眠る御霊と原爆で亡くなられた多くの方々に黙とうを奉げた。

続いて、国労被爆者対策協議会の松川会長と被爆者遺族代表の山口さんにより新慰霊碑に合祀が行われた。

### Ⅱ豊田長崎地区本部委員長挨拶Ⅱ

移転式実行委員会を代表して豊田長崎地区本部委員長は、一昨年浦上駅前再開発に伴う慰霊碑の移転が決定し、会社との協議や打ち合わせが約10回行われる中、会社の理解と協力のもと昨年12月24日、慰霊碑の移転・譲渡となった事を報告し、改めて感謝の意を表した。

また、ロシアの軍事侵攻で核の使用が囁かれ、日本でも国防のための核保有・核共用の声が聞かれる事に、憲法理念の逆行を何としても許してはならないと訴えた。最後に諸先輩の方々の被対協運動の意思を引き継ぎ戦前回歸への道を許さず核廃絶と世界の恒久平和を強く訴え続けると挨拶した。

### Ⅱ松川中央本部執行委員長挨拶Ⅱ

松川中央本部執行委員長は、さまざまな原爆の惨禍から76年が経過し216名となった慰霊碑に眠る犠牲者に、今回の慰霊碑移転の儀に際し国鉄労働組合を代表して謹んで追悼の言葉を捧げると挨拶。

広島と長崎において毎年開催している慰霊式が50回目を数える今年、原爆犠牲者や先輩諸氏の思いが込められた新たな慰霊碑をこの地に祭ることが出来たと述べ、九州旅客鉄道株式会社や地域の方々に感謝の意を表した。

今後も恒久平和を願う立場から、核兵器の根絶と戦争のない世界を求め、この慰霊碑を前に国鉄労働組合も微力ながらその実現に向け全力を尽くすと決意を誓った。



【216名の尊い御霊が新慰霊碑に合祀された】

### Ⅱ洲上副支社長挨拶Ⅱ

九州旅客鉄道長崎支社の田中支社長が所用のため洲上副支社長が挨拶。

100年に一度といわれる長崎線連続立体交差事業の浦上駅前広場の再開発に伴い、これまでの場所からの原爆慰霊碑の移転に応じて頂きこの場所に新たに建立させていただく事になったと慰霊碑の移転に際し謝辞を述べ、世界平和は全人類の願いであり原爆が投下された長崎の地が最後になるよう願っていると挨拶した。(Y)